

令和5年第12回沖縄県教育委員会会議（定例会）議事録

1 開会及び閉会に関する事項

令和5年10月19日 午後3時開会
午後4時13分閉会

2 出席者及び欠席委員の氏名

(1) 出席者

教育長 半嶺 満 委 員 藏根 美智子 委 員 小濱 守安
委 員 大城 進 委 員 宮城 光秀

(2) 欠席委員

委 員 比嘉 佳代

3 説明のため会議に出席した職員の職氏名

教育管理統括監	山田 みさよ	教育指導統括監	玉城 学
参 事	大宜見 勝美	参 事	目取真 康司
総務課長	諸見 友重	教育支援課長	大城 勇人
施設課長	平田 直樹	学校人事課長	池原 勝利
県立学校教育課長	崎間 恒哉	義務教育課	宮城 肇
生涯学習振興課長	米須 薫子		

4 議事関係

(1) 開会

半嶺教育長が開会を宣告した。

(2) 議事日程の決定

議事日程について、全会一致で決定した。

(3) 令和5年第11回議事録の承認

全会一致で、令和5年第11回議事録を承認した。

(4) 議事録署名人の指名

半嶺教育長が、宮城委員を議事録署名人に指名した。

(5) 報告事項

報告事項1 教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（県議会議案「令和5年度沖縄県一般会計補正予算（第4号）」に対する意見）について

【説明（総務課長）】

資料に基づき、教育委員会の権限事務に係る教育長の臨時代理（県議会議案「令和5年度沖縄県一般会計補正予算（第4号）」に対する意見）について報告を行った。

【質疑等】

- 大城委員 令和5年度も後半に入り、学校現場においては、授業、進路対策、学校行事等、本格的な教育活動の季節を迎えており、今回の不足額に対する9月補正額は学校現場にとっては安定して教育活動を進めていけるという安堵感につながっていると言えます。高等学校施設改装・改修事業費約6千万円は、8月初旬に襲来した台風6号により被害のあった県立高等学校を修繕するための補正予算とありますが、学校現場の修繕工事は大方終了していて、その下で不足額に対する補正か、それとも大部分の未施工箇所が残っていて、見込み額としての補正なのか、いずれと理解してよろしいでしょうか。
- 施設課長 台風災害による施設修繕については、基本的には、既決予算、国庫の災害復旧事業の活用、単独災害復旧事業の三つの対応方法があります。9月補正予算の先議案件として既に議決は採られていますので、県の単独災害復旧事業で対応できない箇所は既決予算で対応しているところです。
- 大城委員 教育活動の成果に向けて人的条件整備と物的条件整備は一体であることが必要であります。今回の補正予算の計上については、年度も後半に差し掛かり、一層本格化する教育活動の成果に資すると思っております。教育庁所管課は学校現場からの要望及び県の担当部局と報告・連絡を密にし、今後とも予算獲得に頑張ってくださいと思います。

報告事項2 令和6年度沖縄県立特別支援学校幼稚部入学定員について

【説明（県立学校教育課長）】

資料に基づき、令和6年度沖縄県立特別支援学校幼稚部入学定員についての報告を行った。

【質疑等】

- 大城委員 主な5つの障害に対応する学校の中で、沖縄ろう学校の幼稚部入学定員がほかの7学校に比べて大きく設定されていますが、昨年度も含め近年はこれと同じ傾向でしょうか。
- 県立学校教育課長 沖縄ろう学校の令和3年度以降の定員は、10名、10名、9名、と推移しており、今回は6名増の15名に決定しました。他の特別支援学校と比較して沖縄ろう学校は早期の教育が必要ということもあり、幼稚部の定員は多く設定されています。
- 大城委員 仮に設定されている入学定員の15名が入学した場合、学級数はいくつになりますか。
- 県立学校教育課長 3学級の設定となります。

○大城委員 学校の地理的位置、いわゆるロケーションもありまじょうが、学校が総合的な指導力において高い評価又は支持されたためだろとう思います。

報告事項3 令和4年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果等について

【説明（義務教育課長、県立学校教育課長）】

資料に基づき、令和4年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果等の報告を行った。

【質疑等】

○藏根委員 人間はみな我を持っていますので、いじめなどは大人の社会にも存在します。大人であれば自分で適切に対処することができますが、子どもの場合は自分一人で対処することができません。したがって、大人が子どもを見守ることが大事であり、教師の一番大事な仕事は子ども同士の間関係のもつれを早期に発見してほどこいてあげることだと考えています。不登校等の原因となりうる生活リズムの乱れ等に対応しているのは非常に素晴らしいです。今回の調査結果から、コロナ禍による休校等が子どもたちにもたらした影響を考えると、学校の重要性というものを我々も改めて認識しなければならないと感じました。コロナ禍が明け通常の教育活動が再開しましたが、生活リズムの乱れ等に起因する不登校等の問題が顕在化している状況下で、教員がいろいろな対応策を練る必要があると思いますし、それを明確になさっていると感じます。私たち教育委員が8月31日に見学した泊高等学校は、「志あるものには最大限のチャンスを与え、最大限の支援を行う。人は変わり得る存在である」という理念を掲げています。県高校定時制通信制生徒生活体験発表大会で、泊高等学校定時制午前部の生徒の「当たり前前」の多様化」という発表が最優秀賞を受賞して新聞記事にも取り上げられておりますが、その内容にとても感銘を受けました。「世の中がつくる『当たり前』に縛られ、普通を求められ苦しんでいる人が存在するそして個性豊かな人たちが集まる泊高校で出会ったクラスメートたちのいろいろなかたちの『当たり前』に気づき、みんなの『当たり前』を大切にしたい」というメッセージを読んで、学びのセーフティネットとして子どもに対して一つ一つ丁寧に関わる泊高等学校の姿勢の大切さを感じました。義務教育でうまくいかなかった子どもたちの中から、高等学校のシステムの中ですごい理念を持った子どもたちが生まれてくることを目の当たりにすると、日本の教育は、素晴らしいと感じます。一人でも多くの子どもたちに自分らしくいられるチャンスを与えられるように、魅力ある学校づくりや、校内自立支援教室の授業、ICTの活用等、あらゆる対策を立てて取り組んでいく必要があると思います。

○小濱委員 いじめ等の問題行動は例年少しずつ増えております。去年も同様に未然防止、魅力ある学校づくりとおっしゃっていたと思いますが、いじめをなくするのは難しいことです。これまではコロナ禍の影響で子ども同士が接する機会が減っていましたが、コロナ禍が明けて教育活動が通常時へ戻るにつれて、いじめ等の問題行動は増えるのではないかと考えています。また、現在進行しているGIGAスクール構想によ

って、ネット環境も子どもたちにとって身近なものとなりました。そうするとインターネットが関連するいじめ等が出てくると思います。今回の調査結果をしっかりと分析して、分析結果を呈示いただければ、状況把握に有効であると思えました。いわゆるネットいじめはかなり陰湿で、いったんインターネット上に情報が流出すれば完全に消去することが難しいという危険性を含んでおりますので、インターネットが関連するいじめ等についても分析して頂きたいと思えます。

- 県立学校教育課長 本調査結果については、分析を進めつつ、その結果を研修等で教員へフィードバックすることで、子どもたちの状況をしっかりと把握して生徒指導に生かせるよう努力しております。コロナ禍が明けて、子ども同士が接する機会が増えてきますので、多岐にわたる業務で大変ではありますが教員も気を引き締めて、行政一丸となって対策に取り組みたいと考えています。
- 大城委員 今回の調査結果で、暴力行為の発生件数が県内国公立学校全体で2,983件。前年度比927件増の調査結果がとりわけ気になっております。その中で対教師暴力件数251件について、報告件数の高い小中学校においてどのような内容の報告が上がっているかについて教えてください。
- 義務教育課長 小学校では、生徒間暴力の仲裁に教師が入った際に被害を受けるケースが報告されています。また、生徒間暴力では、同じ生徒が複数回トラブルを起こすことでかなり数が大きくなっていると、報告を受けています。
- 大城委員 報告を受けた際、学校として組織的な対応等がどのようになされているでしょうか。
- 義務教育課長 従来行われていた強い指導は控え、クールダウンさせながらその子を諭す方法で指導を行う対応を行っています。
- 大城委員 高等学校においては、人権意識の高揚を図るなど、生徒のいじめ問題への対応の面でスクールロイヤー制度を活用した出前授業や職員向け研修を行っていると聞いています。この制度は本報告のような対教師暴力の対応についても活用が可能でしょうか。
- 県立学校教育課長 スクールロイヤー制度については、学校の抱えるトラブルについて相談に乗る体制を取っていますので、対教師暴力の相談があった場合は対応できます。
- 大城委員 高等学校におけるスクールロイヤー制度の活用状況についてご説明をお願いします。
- 県立学校教育課長 令和4年度のスクールロイヤーの活用状況ですが、まず法律相談として26校で41件ありました。また、研修としてスクールロイヤーの活用が13校で14件ございました。
- 大城委員 対教師暴力に関しては、職員の安全の確保についても大事であります。このことについては、職員の安全・安心の確保及び働き方改革並びに学校の生徒指導の対応の効果性にも関わってきます。今回の調査結果を踏まえて、スクールロイヤー制度を含む既存の諸制度の実効性のある活用について検討され、あってはならない対教師暴力をなくすことにつながることを希望します。
- 半嶺教育長 ほかにございましたらお願いします。宮城委員、お願いします。

- 宮城委員 高等学校における中途退学について、昨年よりも257人減少しており、退学者が減っていることは良い傾向だと思われます。この中身についても検討していただいて、例えば公立、私立、全日、定時、通信など、どの校種で増えているのか減っているのか等を分析されて、さらに今後退学者を減らしていけるように努めていただきたいと考えております。もし何か見解がありましたらお聞かせいただけますでしょうか。
- 県立学校教育課長 学校、校種、家庭ごとに確認することは大事だと思います、不登校や中途退学につきましては、対策としてスクールカウンセラー、通学継続支援員などの専門外部人材の活用、校内では教育相談、中退担当等で校内での組織体制、相談体制を構築しているところですが、校種ごとに指導の特性や必要性などが分析できれば対策にも生かせると思うので、状況分析に取り組みたいと考えています。

(6) 議案審議

議案第1号 令和5年度沖縄県教育委員会の事務の点検・評価報告書（令和4年度対象）について

【説明（総務課長）】

令和5年度沖縄県教育委員会の事務の点検・評価報告書（令和4年度対象）について、資料に基づき説明を行った。

【質疑等】

- 藏根委員 9月7日に行われた学識経験者との意見交換では時間が足りないほど活発に議論が交わされ、大変勉強になりました。令和4年度はコロナ禍にありながら、実施された全150の事業のうち、進捗状況が順調、おおむね順調の割合が88%であったことについて事務職員の創意工夫を評価したいと思います。例えば「グローバル人材育成事業」では、コロナ禍で海外に子どもたちを送り出すことはできない状況下で、ICTを活用してオンラインでベトナム、台湾、インドネシア、ネパールの子どもたちと沖縄の子どもたち100名を取り出して一緒に研修を受講できる仕組みを構築して国際交流を実現しました。令和5年度は同事業に300名の応募があったと聞いていますが、DXを活用して本県の子どもたちに国際交流の機会を提供できていることは非常に素晴らしいと思います。その一方で、コロナ禍の影響により遅れや未着手があった12%の事業については、分析と検証を重ねることでさらにきめ細かな教育行政が実現できるよう生かしてほしいと思います。
- 大城委員 本県の高等学校教育の課題として全国比で進路決定率の低さが指摘されていますが、進学エンカレッジ推進事業は、大学等の進学率の向上も想定に入れた、幅広く充実した内容、予算規模等から、以前の進学力グレードアップ推進事業も含めて学校現場でも注目の高い事業であります。あらためて事業目的、その概要について簡単に教えてください。
- 県立学校教育課長 令和3年度まで実施されていた進学力グレードアップ推進事業は、県外の難関大学への進学を目的としていましたが、大学等の進学率のさらなる拡

大を目指すには、キャリア教育の視点が必要であると考え、令和4年度からは継続事業として進学エンカレッジ推進事業がスタートしています。内容としましては、大学等の進学率を向上させるために、本県高校生を対象とした生徒資質・能力向上プログラムを実施し、県外国公立大学への進学を推進するという内容です。

- 大城委員 去年から名前も新たに刷新されましたが、今年度は現時点で順調に事業が進んでいるでしょうか。
- 県立学校教育課長 今年度は昨年度より事業を拡大して、定員数を1年生、2年生、それぞれ240名ずつと設定しています。1年生は33校から231名、2年生は36校から248名が参加しています。事業の流れとしましては、事前研修、県外宿泊研修、事後研修という順番で進んでいきますが、2年生は10月11日から13日にかけて、東北、関東、中部、関西、中国、九州の6コース、8グループに分かれて県外宿泊研修を終え、1年生は11月8日から10日にかけて関東、関西の8コースで県外宿泊研修を実施する予定です。
- 大城委員 本事業については、およそ10年前、県内高等学校の2年生全員を対象に、東京を中心とする関東地域にて本事業と関連する取組を県教委のご支援の下で実施いたしました。結果として、自学習時間の増加、視野の拡大、県内外の大学進学の実績が残せたことから現在実施されている事業も本県の大学進学率の向上に寄与するものと思っています。令和4年度から事業名も変更され、本事業の進化発展をうれしく思います。

【採決の結果】

全会一致により、原案のとおり可決された。

(7) その他

特になし

(8) 閉会

半嶺教育長が閉会を宣言した。